

偽造キャッシュカード問題に関する実態調査結果

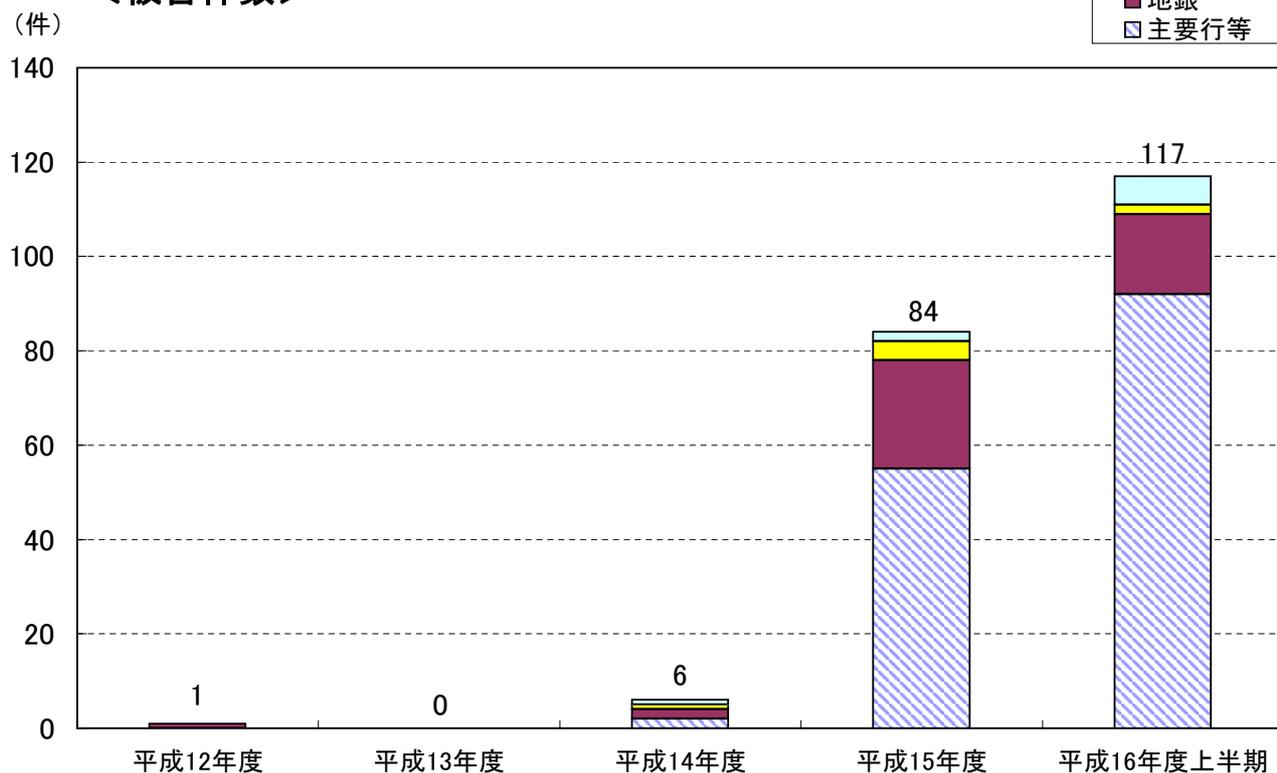
(グラフ)

平成17年2月

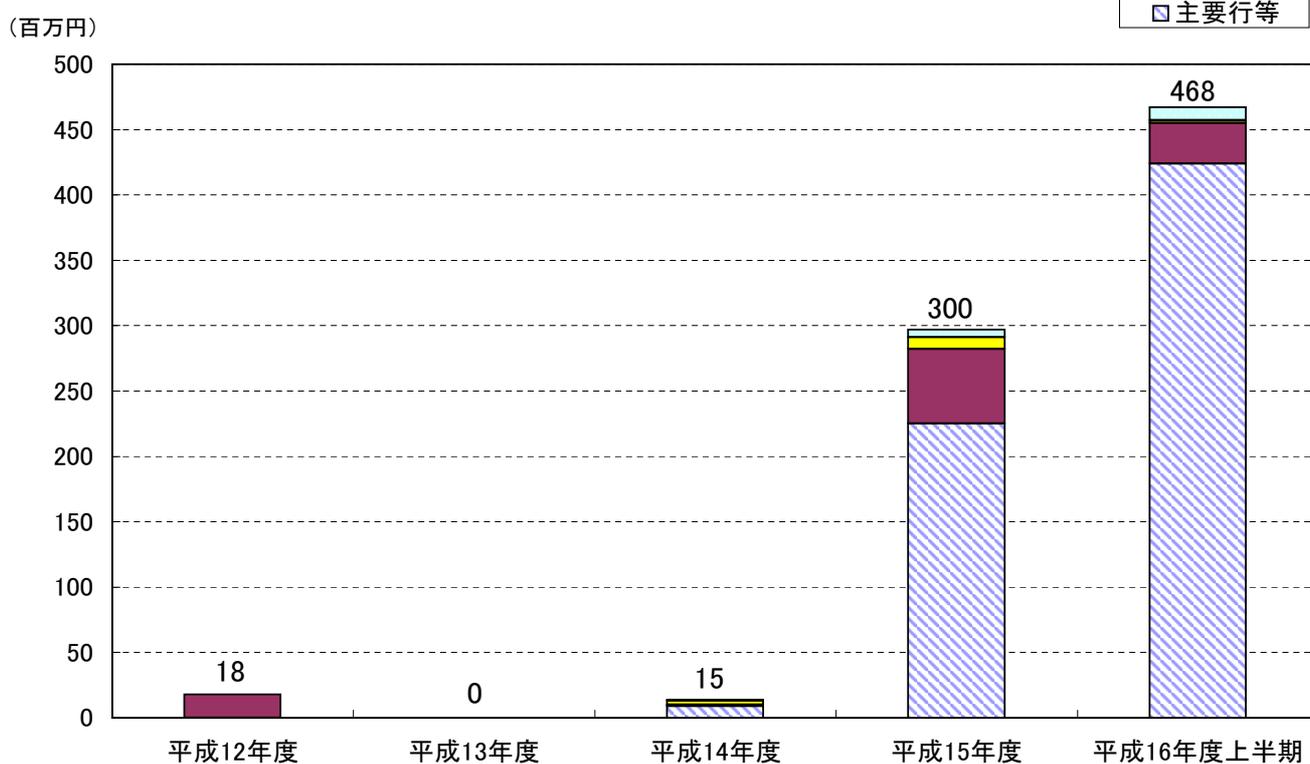
金 融 庁

《被害件数・金額ともに近年急増》

＜被害件数＞

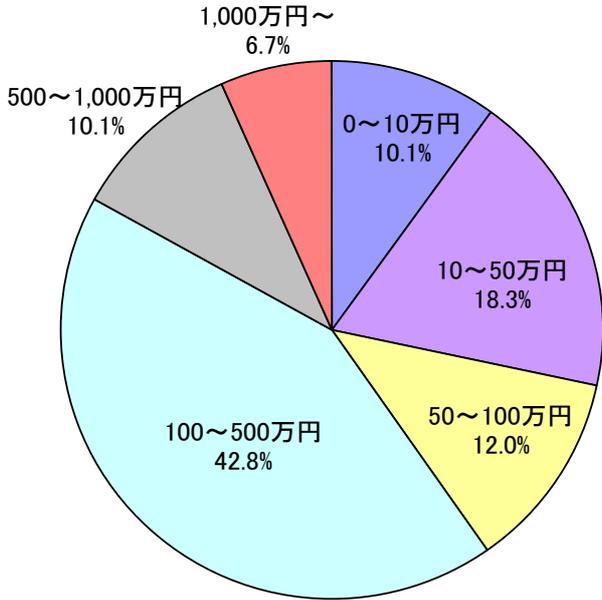


＜被害金額＞

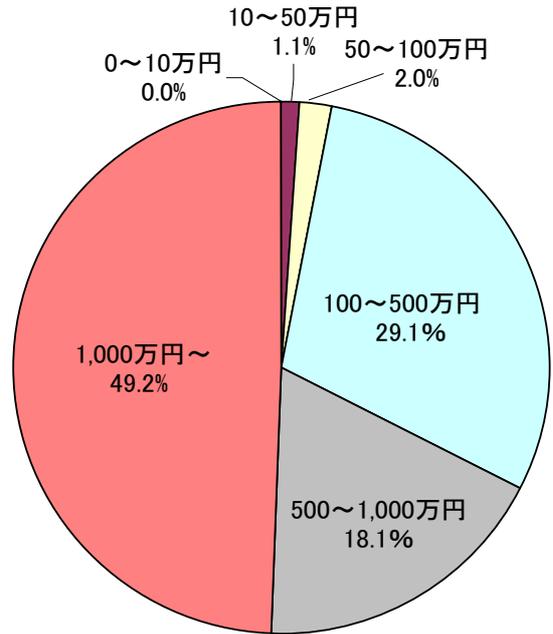


《個別被害額の分布状況》

＜件数：100万円以下、
100～500万円が各4割＞

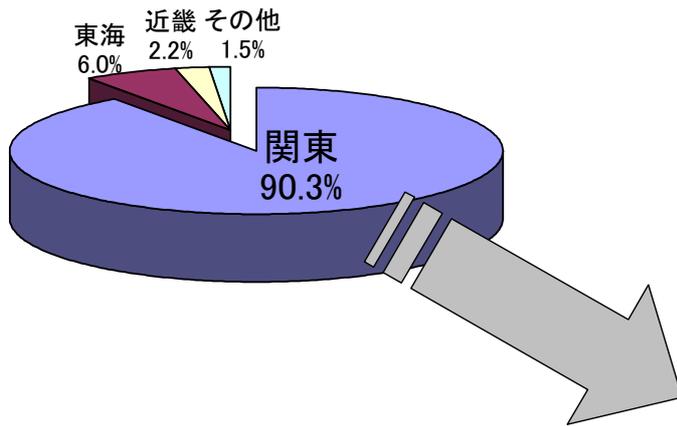


＜金額：1,000万円超が約5割＞

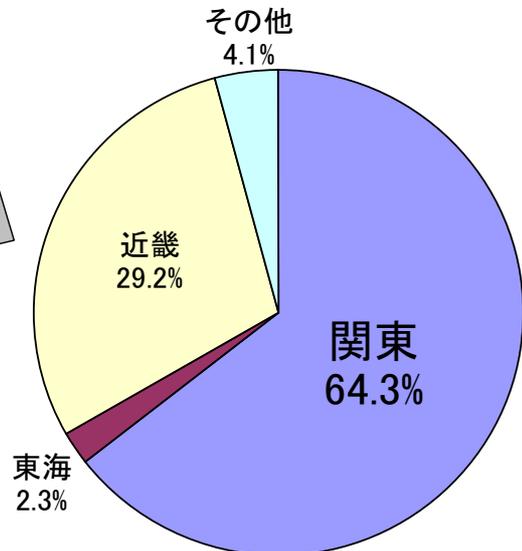


《被害は関東に集中》

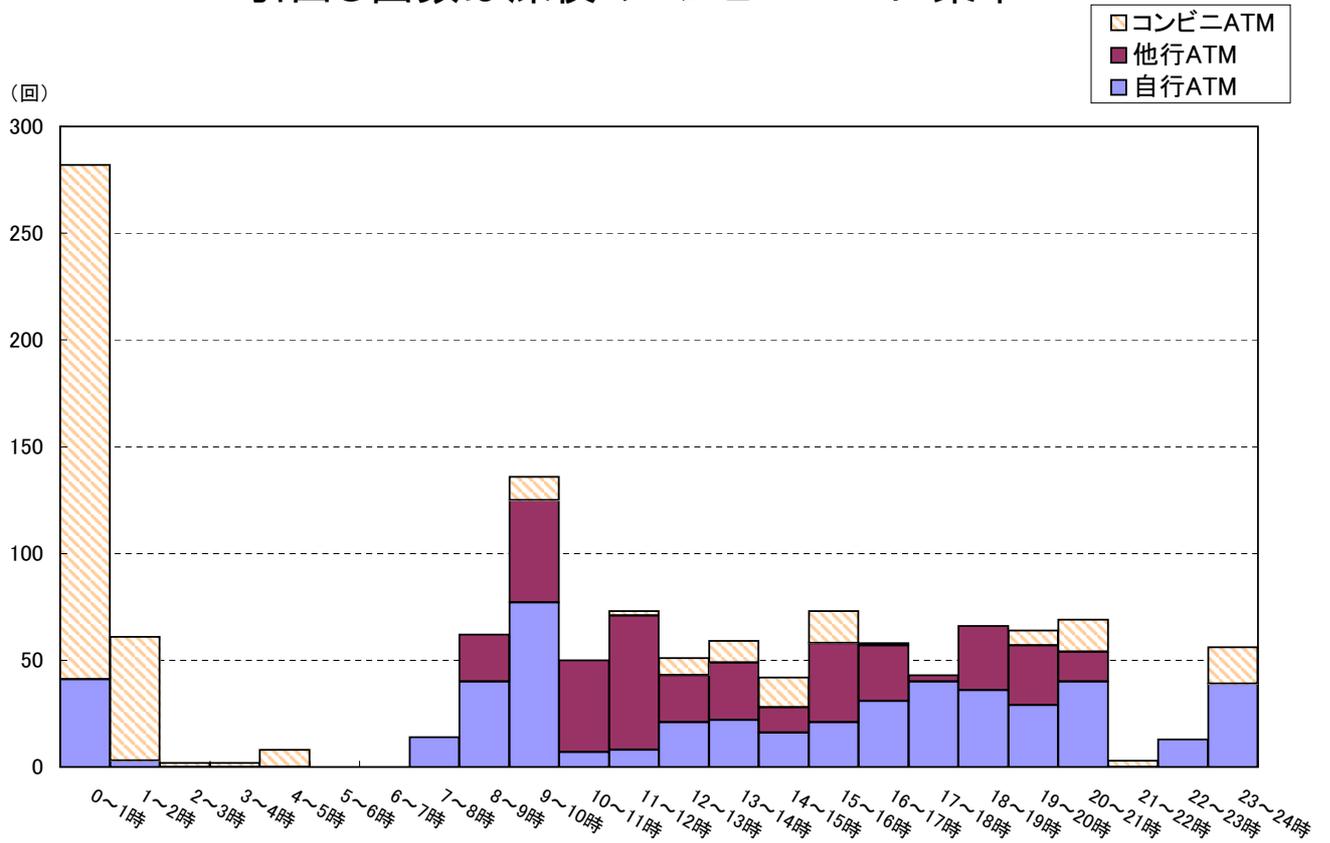
＜口座所在地＞



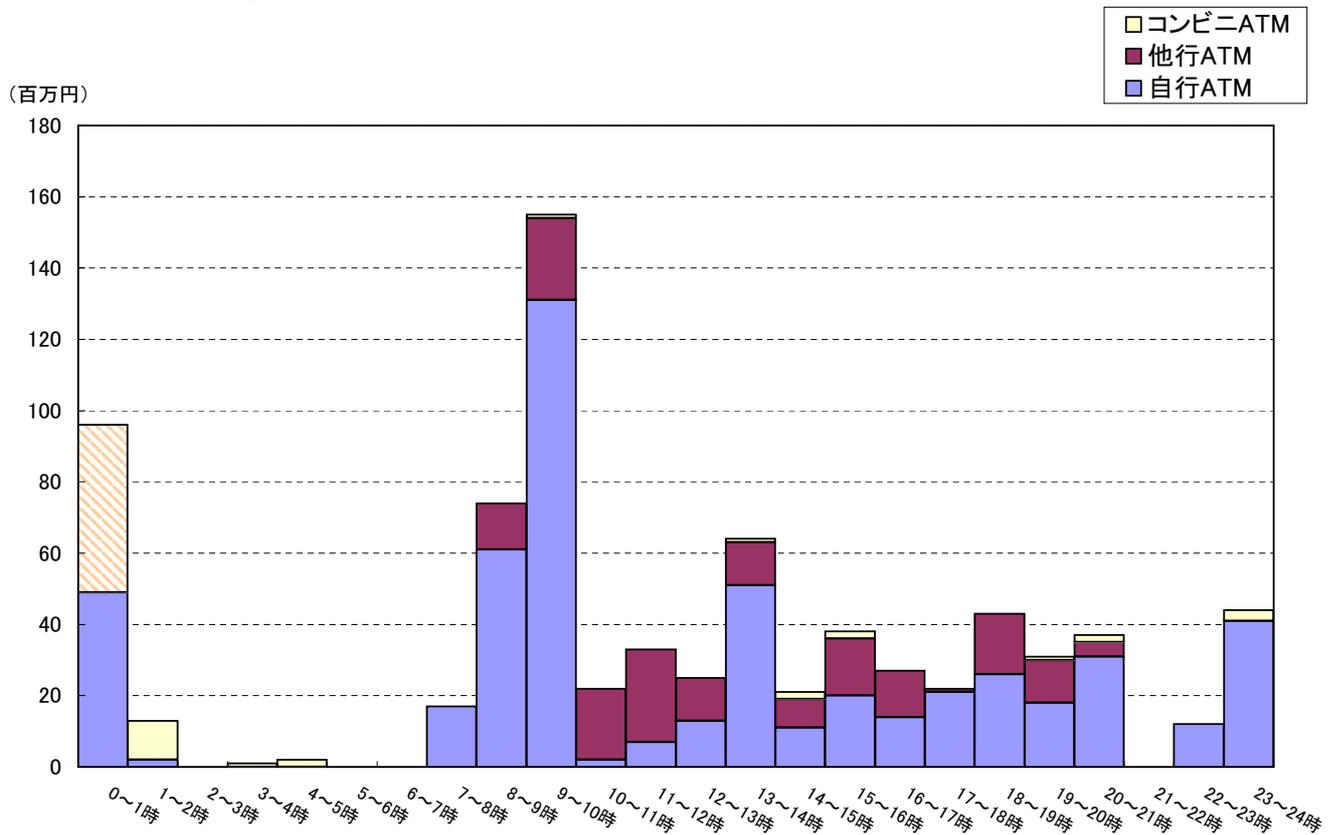
＜関東所在の口座の引出し地＞



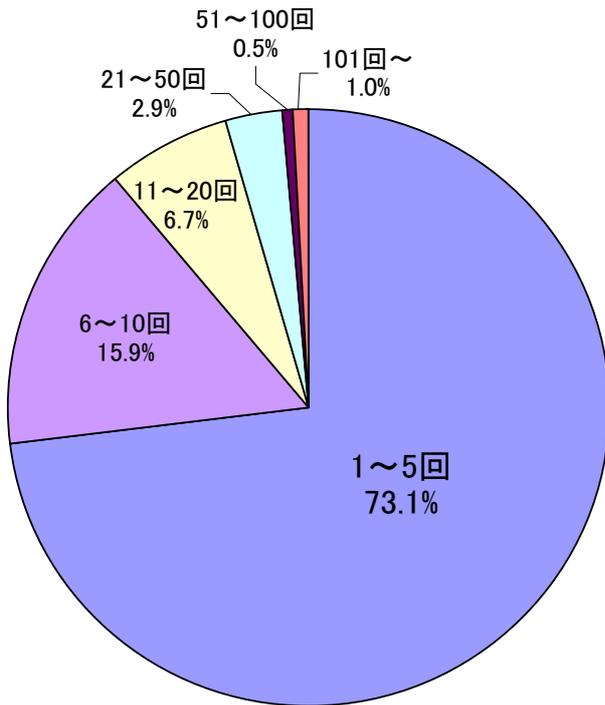
《引出し回数は深夜のコンビニATMに集中》



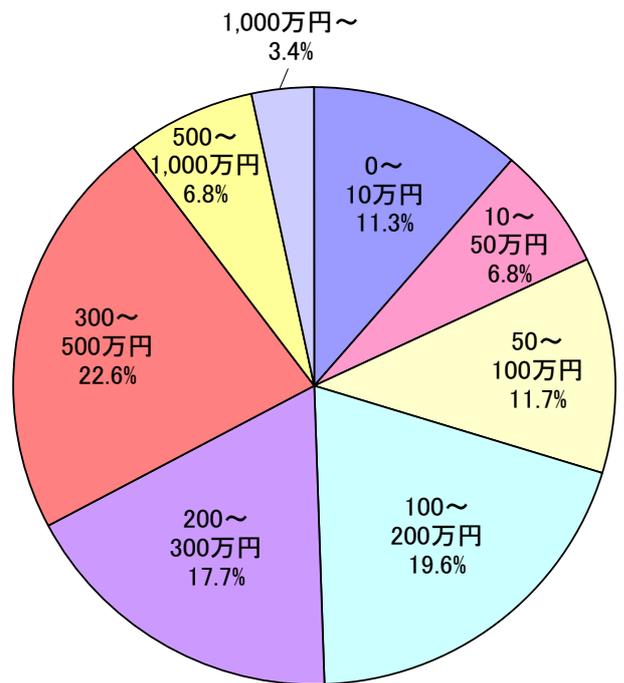
《引出し金額は午前9時台の自行ATMで最大》



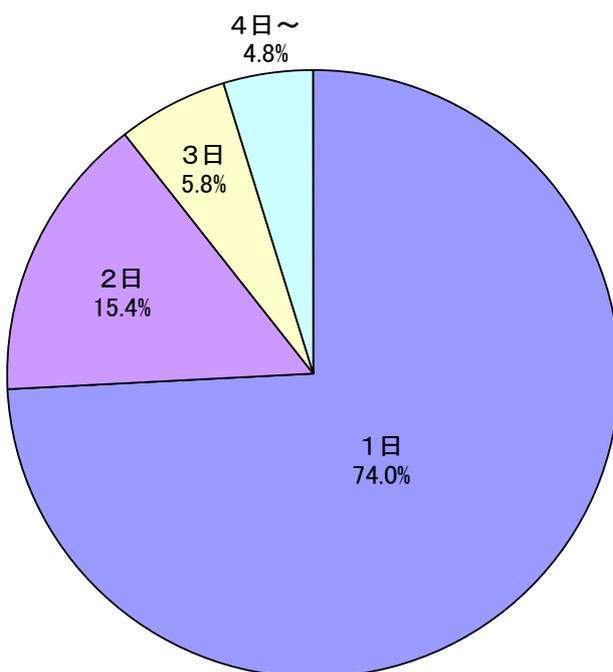
《1件あたり引出し回数
5回以下が全体の4分の3》



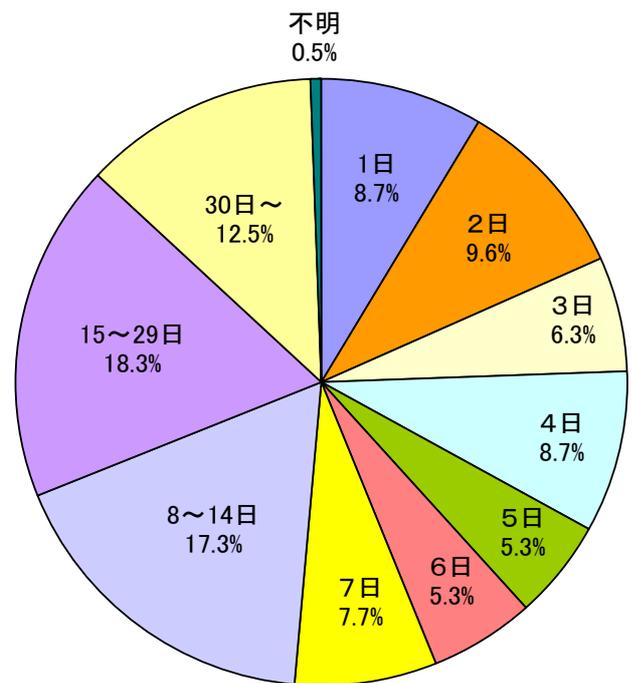
《1日の引出し額
100万円以上が全体の7割》



《大半は3日以内に引出し》

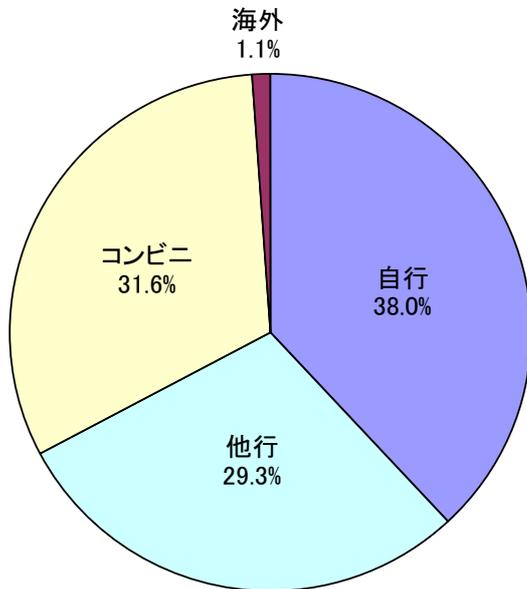


《3日以内に被害に気づいた
ケースは全体の4分の1》

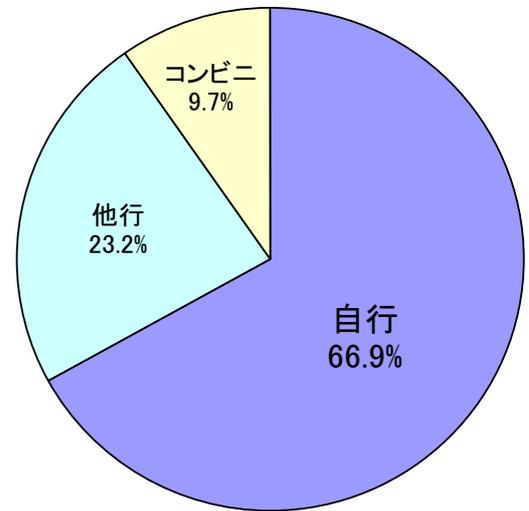


《ATM形態別引出し状況》

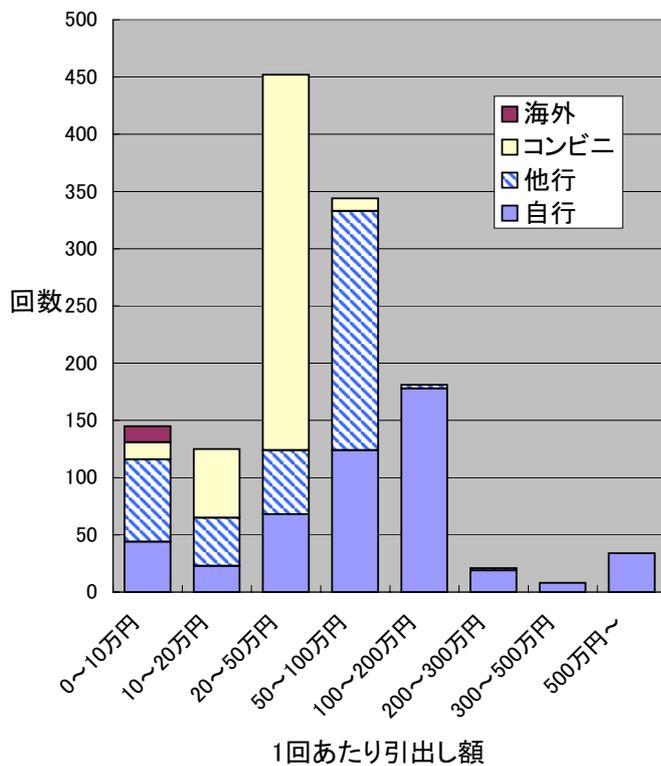
＜回数では自行、他行、
コンビニが各3分の1＞



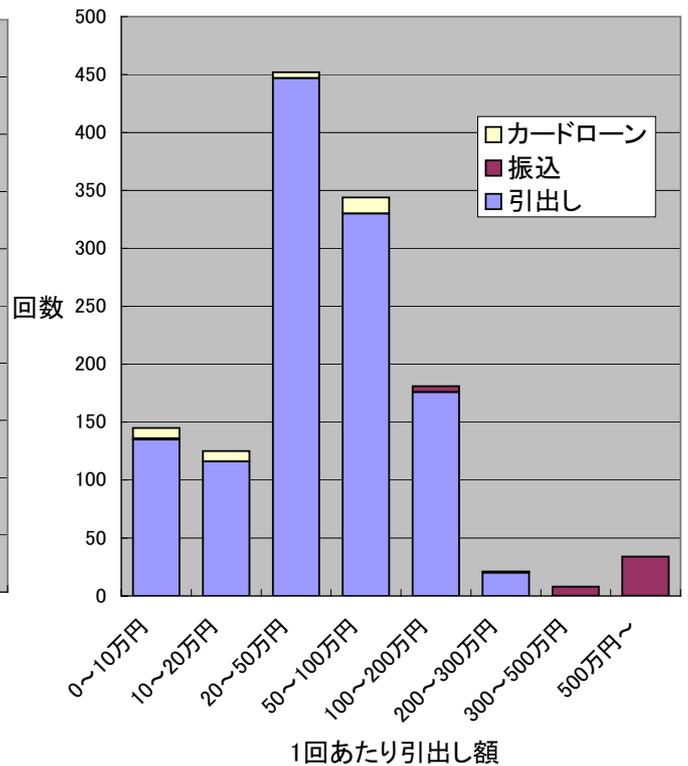
＜金額では自行ATMが多い＞



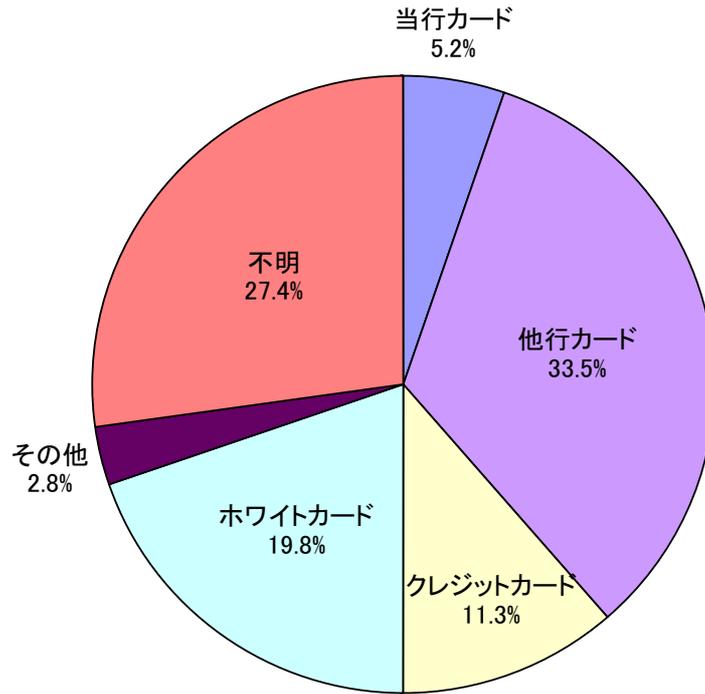
＜1回あたり引出し額が
高額なほど自行ATMを利用＞



＜1回あたり引出し額が
高額なほど振込を利用＞

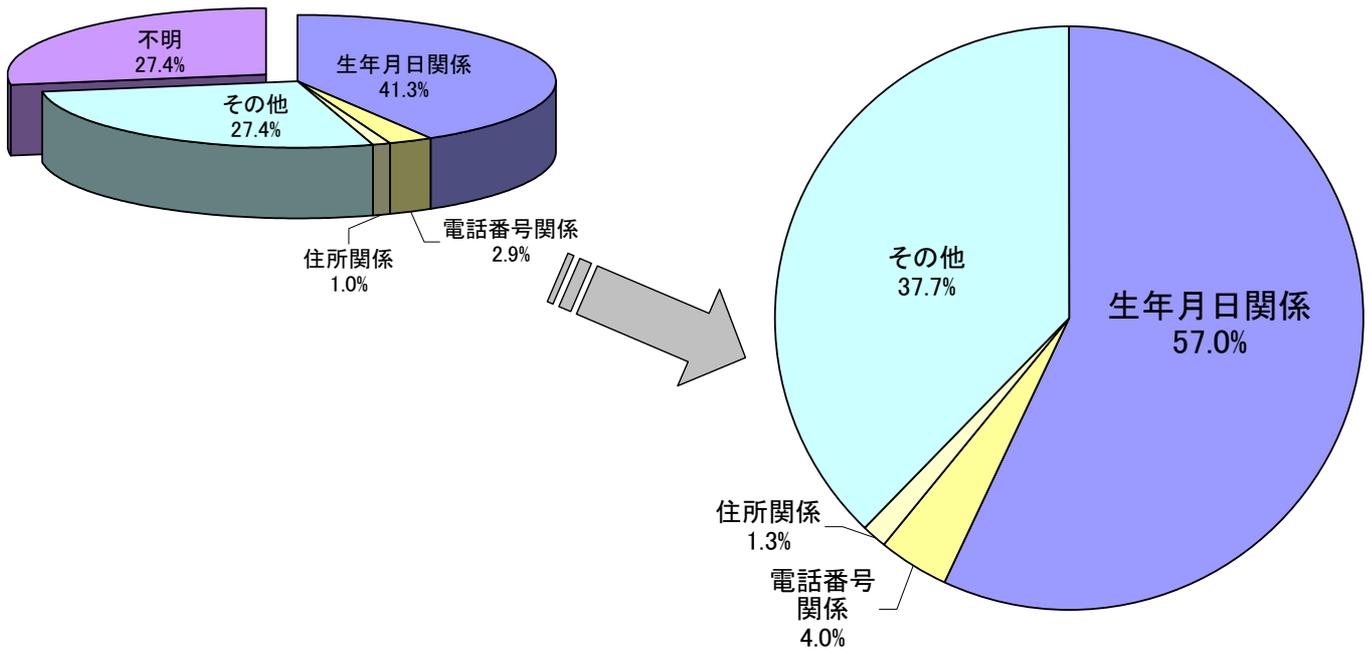


《使用カードの状況》



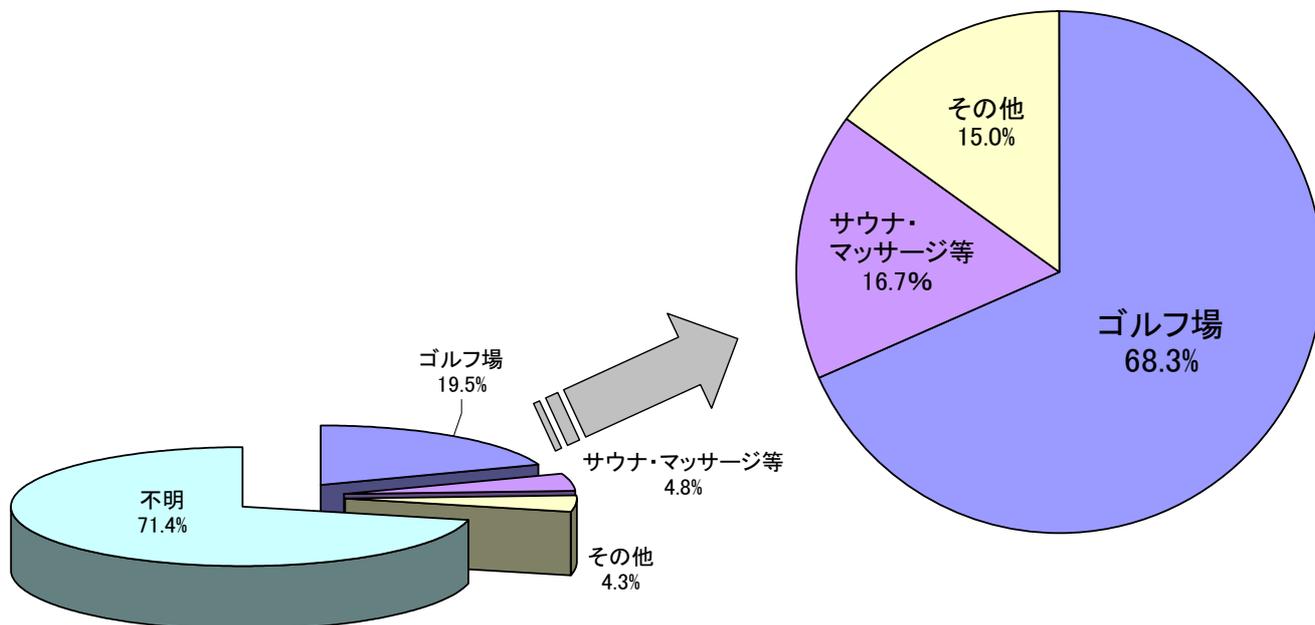
《判明している暗証番号の6割は生年月日関係》

(判明している暗証番号)

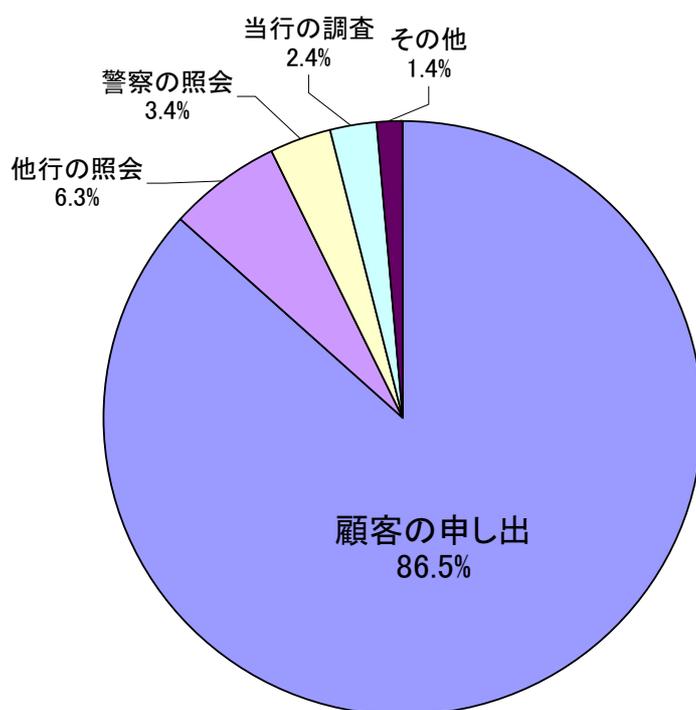


《発生要因：心当たりがあるものでは「ゴルフ場」が最多》

(発生要因に心当たりがあるもの)

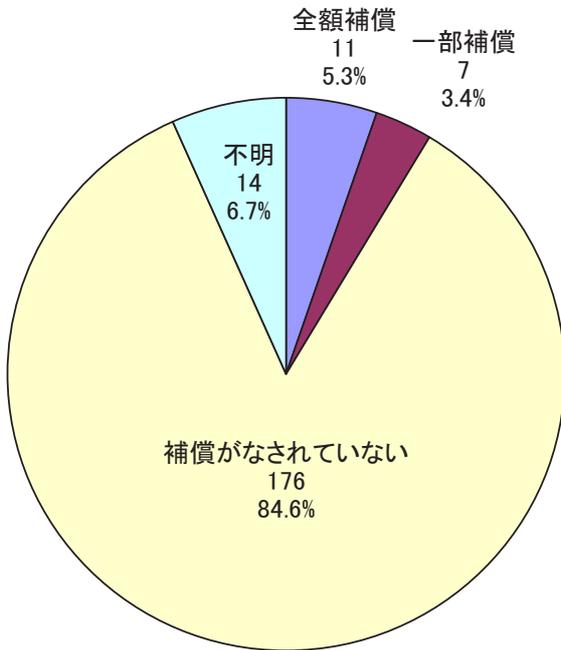


《顧客の申し出により発覚したケースが大半》

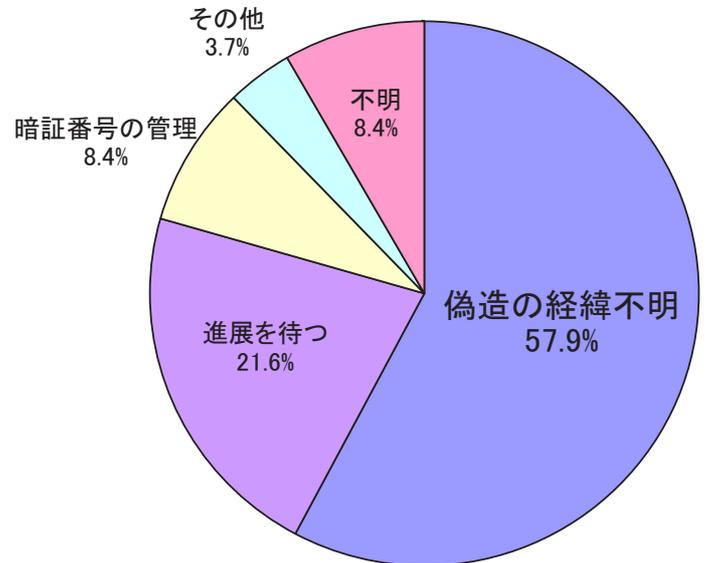


《被害への補償》

＜18件で補償を実施＞

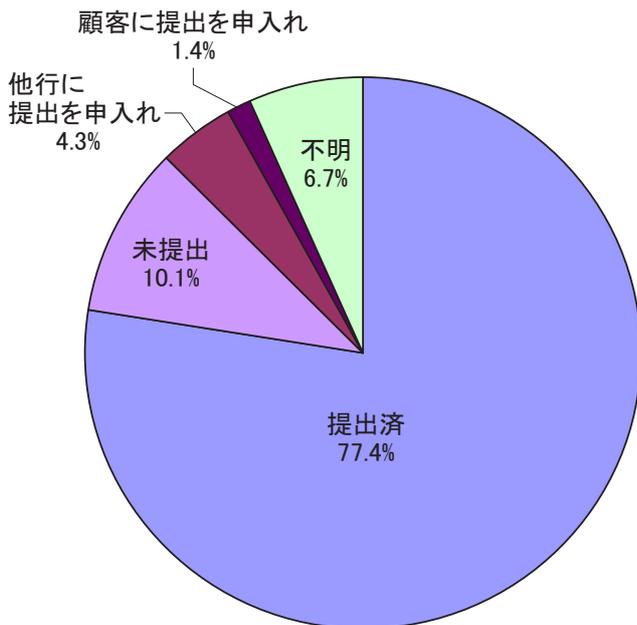


＜補償がなされていない理由の 最多は「経緯不明」＞



《被害届の提出状況》

＜全期間では1割が未提出＞



＜全銀協申し合わせ以降は 全件で対応＞

